

定期試験の模範解答の開示について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年2月5日）

定期試験の模範解答の開示について、ぜひともご検討いただきたくお願いいたします。

京都大学の昨年度の物理の入学試験問題の件に端を発して、大学入試問題の模範解答の開示の是非が話題となっています。次元が違うのは承知しておりますが、学内の定期試験についても全学部全科目（レポートを課す科目、体育などを除く）について、各教員が試験終了後すみやかに模範解答もしくはその要点を開示すべきと考えます。論述問題では、解答の要点や得点に加算されるポイントなどを開示すべきです。学生の思考プロセスを試すというのであれば、その解答例をいくつか挙げて解説すれば、学生にとって極めて有意義であると考えます。模範解答が開示されるようになれば、異議申立制度も機能しやすくなると思われまます。開示方法としては、各教員がKULASISに掲載すればよいと思われまますが、フィードバックシステムの中で模範解答を希望する学生に配布するという方法も有効と考えまます。

毎回模範解答が示されることになれば、作問する側は前年以前と同じ問題を出題することができなくなります。問題作成に工夫が必要になって、講義に新たな内容が盛り込まれる可能性が高まるなど授業にも好影響を及ぼし、教員側のマンネリを回避することが期待できます。学生としても、過去問の収集とその解答づくりに没頭する、あるいは出回っている模範解答の暗記などといったばかげた試験勉強では対応できなくなります。教員、学生双方に緊張感が高まり、非常に有効な施策となるため、是非とも導入していただきたいと思いまます。導入できないというのであればその理由、模範解答を開示することで発生する問題があるのであればその内容をお示しください。

以上、よろしくご検討ください。

【回答】（回答日：2018年4月10日）

（教育推進・学生支援部教務企画課）

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

定期試験の模範解答の開示については、各学部等とも情報共有させていただくとともに、いただいたご意見を参考にさせていただきながら、フィードバック期間などを活用して、教員及び学生の皆さん双方に好影響を及ぼす効果的な仕組みを構築できるよう、今後検討を進めていきたいと考えていまます。